

【ご案内】

第18回 遺伝カウンセラーのための実践集中講座 ～がん診療の中で働くことを目指して～

国立病院機構四国がんセンター主催「第18回遺伝カウンセラーのための実践集中講座」を開催致します。本講座は、主に遺伝カウンセラーコースの学生の方や現在勉学中の認定遺伝カウンセラーの方を対象に、遺伝性腫瘍の診療を行う際に必要なより正確な知識の習得、遺伝カウンセリング技術の向上を目指すものです。遺伝性腫瘍の診療でより高いレベルを目指される方には是非お集まりいただきたいと思います。

少しでも多くの方に参加いただけるよう参加期間を、フル参加（7日間）以外に基本編（前半3.5日間）もしくは応用編（後半3.5日間）のみ参加の3パターンから選択できるようにしました。是非ご参加をご検討ください。

国立病院機構四国がんセンター
遺伝性がん診療科医長 山本弥寿子

主催：国立病院機構 四国がんセンター 後援：日本遺伝性腫瘍学会

1. 日時：2025年8月13日（水）13時～8月19日（火）13時
2. 場所：国立病院機構四国がんセンター（〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160番）

3. 講座概要

1) 講師

田村智英子（FMC 東京クリニック/順天堂大学医学部附属順天堂医院 遺伝相談外来 認定遺伝カウンセラー）

松田 圭子（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 認定遺伝カウンセラー）

金子 景香（がん研有明病院 臨床遺伝医療部 認定遺伝カウンセラー）

その他 （四国がんセンター 認定遺伝カウンセラー、医師、看護師等）

2) 講座内容 ※資料1をご確認ください

4. 受講要件

応募フォームの所属機関等の項目を必ずご記入ください。

- ①遺伝カウンセラー養成課程の大学院生または修了生
- ②認定遺伝カウンセラー
- ③上記以外で遺伝性腫瘍診療に従事または従事予定
- ④その他、ご不明な場合はご相談ください

5. 参加方法

参加方法は①全日程参加の他に、②基礎編のみ、③応用編のみの3通りから選択可能です。

ただし③応用編のみ参加の場合は、参加要件※があります。参加要件に当てはまらないが③応用編のみ参加を希望される場合、個別に検討しますのでご連絡ください。

※応用編のみ参加の要件：以下のイ）またはロ）に該当する場合

- イ）過去に①全日程または②基礎編のみに参加したことがある
- ロ）認定遺伝カウンセラーとして既に勤務している方

6. 修了要件

①適宜の課題が提出できること（申請時、事前/事後に課題提出あり）

②適宜の課題が合格基準に達していること

7. 定員：基礎編・応用編ともに各6名

※応募多数の場合、受講要件①を優先とし、状況等により選考します

8. 受講費：

① 全日程参加：学生 2,000 円 社会人 20,000 円

② 基礎編のみまたは③応用編のみ参加：学生 1,500 円 社会人 15,000 円

9. 研修申込

期限内に申込はフォーム入力および申請レポートを提出してください。**〆切：6月23日（月）12時**

1) 研修申込フォーム入力

以下の URL または QR コードから研修申込フォームにアクセスの上ご入力ください。

※随時確認可能なメールアドレスをご登録ください。

【申込 URL】 <https://forms.office.com/r/ULSMkX4vKj>



2) [申請レポート]および[個人目標評価表]の提出

以下の要領で[申請レポート]および[個人目標評価表]を PDF メール添付で提出してください。

[申請レポート]

以下の①～③について A4 タテ 1-2 枚に記載してください（書式自由/右上に所属・氏名を明記）。

① あなたがこれまでに遺伝性腫瘍について学んだこと

② あなたが遺伝性腫瘍に関して実践でできること/実際に業務でやっていること

③ あなたが遺伝性腫瘍の臨床において大切だと思うこと

[個人目標評価表]

あなたがこのセミナーで学びたいこと/できるようになりたいこと/業務で求められていることを

学習目標として整理し指定様式(Excel)に記載してください。記載方法の詳細は指定様式内の記載例を

参照してください。 ※研修終了時に再度到達評価を行います。

10. 宿泊

1) 施設

希望者には病院敷地内の宿泊施設「向日葵」をこちらで手配いたしますので、申込フォームにご入力ください。

[向日葵 HP]<https://shikoku-cc.hosp.go.jp/hospital/about/facility/himawari/>

※原則個室ですが、申し込み人数の状況次第では相部屋をご了承いただけるかどうか相談させて頂く場合があります。

※外部の宿泊施設を利用の場合、ご自身での手配をお願いいたします

2) 宿泊費

学生 1,000 円/泊 社会人 2,640 円/泊

3) その他：来場には公共交通機関をご利用ください。※伊予鉄道横河原線沿線が便利です。

11. 昼食

希望者には、平日分のみ昼食（1食分/440円/自己負担）をこちらで手配いたします。

研修申込フォームに、昼食希望の有無をご入力ください。

※院内のコンビニや食堂は混み合います。研修スケジュールが過密なため、事前申込がお勧めです。

12. 個人情報

受講に際する個人情報（氏名・メールアドレス・所属・立場等）は企画側および
研修生間で共有させていただきます。研修以外の目的で使用することはありません。

13. 受講決定通知等

受講可否は 6 月 30 日（月）12 時までに、メールでお知らせいたします。

受講決定者には、振込方法等の連絡事項をメールでお知らせいたします。

資料2にある事前課題を期限内に提出してください。

14. 問合せおよび申請レポート提出先

四国がんセンター（遺伝性がん診療科）

TEL：089-999-1111（代表）

E-mail：519-scc-iden★mail.hosp.go.jp『★を@マークに変えてください』

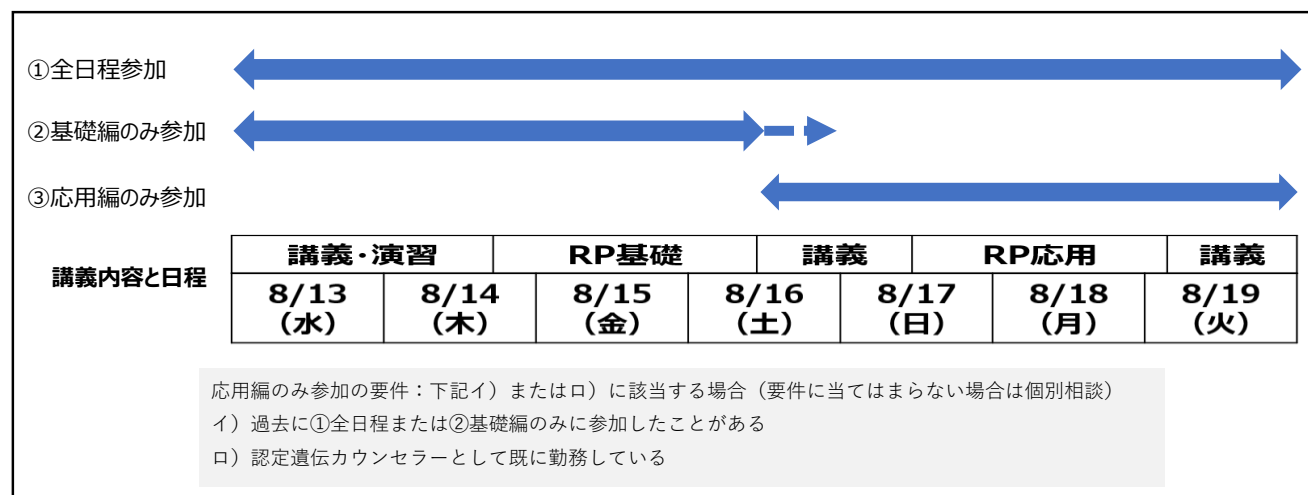
件名「第18回遺伝講座」と表記してください

[注意]

- ・提出期限厳守
- ・事情により期限内の提出が困難な場合は**事前**に申出ること

※スケジュールは当日の進捗状況に応じて変動する可能性があります。予めご了承ください。

参加方法は【①全日程 ②基礎編のみ ③応用編のみ】いずれかをお選びください。



【事前課題/事後課題】※受講決定者のみ

本講座では、遺伝に関する基礎知識は既に習得済みであることを前提とし、実践的な演習形式を中心に行います。そのため下記の事前課題を行い、事前課題 1 のみ事前に提出してください（応用編のみ参加の場合は不要）。研修の事後課題についても掲載していますので、ご確認ください。

【事前課題 1】家系図作成とそのリスク評価についてレポートを作成する（メール添付提出）

※応用編のみ参加の場合、事前課題 1 は不要

友人・知人など周囲の方を 1 名選び、家族歴を聴取し家系図を作成してください。さらにその家系図の内容から、遺伝性腫瘍の可能性を評価しレポートを作成してください。

受講決定者には、本課題の参考資料として以下 3 点をメール配信しますのでご参照ください。

※【見本】事前課題 2（家系図とリスク評価）、【参考資料①】、【参考資料②】、【参考資料③】

※提出方法：PDF 添付しメール提出

〆切 7 月 28 日（月）12:00

* 注意事項

家系図作成およびリスク評価レポート作成に際し以下のような点に注意してください。

- ① 他者が聴取した情報ではなく、必ずご自身で聴取した情報から作成してください。
- ② 家系図の方式は、米国 NSGC（添付の文献を参照）に準じてください。
- ③ 用紙は A4 横書。家系図とリスク評価レポート各 1 枚の計 2 枚（裏表にせず各 1 枚で印刷）
- ④ 手書可ですが、コピーしますのでボールペン等を使用してください（鉛筆不可）。
本講座内で共有するので、見やすい字の大きさと、用紙全体を広く使ってわかりやすく書いてください。
- ⑤ 実際にカルテに綴じることを想定したり、研修でコピーしたりすることを考慮し、記号の中を塗りつぶす際には、色分けではなく白黒で判別できるよう工夫し、用紙の周囲は 2 センチ程度の余白をとってください。
- ⑥ 家族歴は 15～20 分程度で聴取できる範囲の情報で結構です。家系員全員の年齢や性別等がすべて細かく書かれていなくてもかまいません。遺伝性腫瘍の可能性を評価するのに必要な情報が聴取できているかどうかを確認します。
- ⑦ リスク評価レポートは数行程度で結構ですので、家系図とは別用紙に記述してください。
- ⑧ 家系図およびリスク評価レポートともに、右上に聴取年月日・受講生の氏名を明記してください。

【参考資料】

- ① Bennett RL et al (1995). Recommendations for Standardized Human Pedigree Nomenclature. Journal of Genetic Counseling. 4(4): 267-279.
- ② Bennett RL et al (2008). Standardized Human Pedigree Nomenclature: Update and Assessment of the Recommendations of the National Society of Genetic Counselors. Journal of Genetic Counseling. 17: 424-433.
- ③ Bennett RL et al (2022). Practice resource-focused revision: Standardized pedigree nomenclature update centered on sex and gender inclusivity: A practice resource of the National Society of Genetic Counselors. Journal of Genetic Counseling. 00:1-11.

【事前課題 2】以下の 7 項目について基本事項を整理しレポートを作成する（提出不要）

①家族性大腸ポリポーシス（FAP）、②リンチ症候群、③遺伝性乳がん卵巣がん、④リー・フラウメニ症候群、⑤フォンヒッペルリンドウ病、⑥多発性内分泌腫瘍症 1 型（MEN1）、⑦多発性内分泌腫瘍症 2 型（MEN2）の 7 項目について基本事項を整理しレポート作成してください。事前提出は不要ですが、研修当日にご持参ください。書式は、受講決定者メールに添付される『【様式】疾患別基本事項整理シート』をご利用ください。

本課題に際し、「NCCN ガイドライン」の資料、「GeneReviews」のサイトを参照してください。その他、それぞれのがんの診療ガイドライン等も参考にしてください。

*** 参考資料：NCCN ガイドライン (<http://www.nccn.org/>)**

上記 URL より NCCN (National Comprehensive Cancer Network) のサイトにアクセスの上、アカウント登録を行い（無料）、以下のガイドラインをご自身でダウンロード入手してください。

- ① NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology “Genetic/Familial High-Risk Assessment: Breast, Ovarian, Pancreatic, and Prostate ” version3. 2025
- ② NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology “Genetic/ Familial High-Risk Assessment: Colorectal, Endometrial, and Gastric” version3. 2024
- ③ NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology “Neuroendocrine and Adrenal Tumors” Version1. 2025

※最新版ではありませんが、日本語版は下記 URL よりダウンロードできます[登録不要]。

<https://www2.tri-kobe.org/nccn/>

*** GeneReviews (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK1116/>)**

日本語版：<http://grj.umin.jp/>

*** 多発性内分泌腫瘍症サイト (<http://men-net.org/medical/guidance.html>)***** 参考図書**

- ・大腸癌研究会編、遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024 年版、金原出版株式会社、2024 年
- ・遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）診療ガイドライン 2024 版、金原出版株式会社、2024 年

【事後課題】以下の内容についてレポートを作成し提出してください（メール添付提出）

『本講座で学んだことを振り返り、その中で気づいたこと、勉強になったこと、今後どのように現場で生かしていくかについて考察しまとめる』

※提出方法：A4 1-2 枚程度 PDF 添付しメール提出

〆切 9 月 8 日（月）12:00

問合せおよびレポート提出先 四国がんセンター（遺伝性がん診療科）

E-mail：519-scc-iden★mail.hosp.go.jp 件名「第 18 回遺伝講座」と表記してください。

『★を@マークに変えてください』